「令和８年度新潟県警察署協議会代表者会議」の開催結果について

１　開催日時

令和８年 10 月 19 日（月）午後１時 10 分から午後３時 25 分までの間

２　開催場所

新潟県警察本部　大会議室等

３　出席者（67 人）

(1) 新潟県公安委員会

和田委員長、逸見委員、斎藤委員、稲垣委員、櫻井委員‥‥ ５人

(2) 警察署協議会

各警察署協議会代表者‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 27 人（１署欠席）

※　各署警務課長等が随行員として出席‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 28 人

(3) 警察本部

本部長、各部長等‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ７人

４　開催概要

(1) 公安委員長挨拶（要旨）

県民が安心して暮らせる安全な新潟を実現するためには、住民と警察が一体となった組織的取り組みが必要であり、この両者をつなぐ協議会の役割は一層重要なものになっている。

警察署協議会の目的として、警察の業務運営に民意を反映させることが挙げられるが、今後とも地域と警察の懸け橋として、御意見、御提案をいただきたい。

(2) 警察本部長挨拶（要旨）

県警にとって、県民や地域の方々が警察に何を望んでいるのか、どのような犯罪に不安を感じているのか、あるいは地域における交通規制や交通指導取締にどのような要望をお持ちなのか等について具体的に把握し、業務に反映させることが欠かせないと考える。

本日の意見交換を通じて、他の警察署協議会の実情や取り組みの中で参考となるものをそれぞれの協議会に持ち帰っていただき、各署協議会におけるさらなる活発な議論につなげていただきたい。

(3) 班別意見交換

ア　出席者

各署協議会代表者並びに県公安委員会の委員長及び各委員

イ　班編制

地域や警察署の規模に偏りがないよう４班（１箇班７名）に編成

ウ　テーマ

１班「警察署協議会からの意見・要望を施策等に反映した事例」

２班「警察署協議会の運営に関する意見・要望」

３班「警察業務への理解を深めるための取組状況」

４班「警察署協議会委員として工夫、苦心等していること」

(4) 全体会議

ア　出席者

班別意見交換の出席者に加え、本部長及び各部長が出席

イ　進行

各班の意見交換結果について、座長を務めた公安委員がそれぞれ発表

ウ　意見交換結果

(ｱ) １班「警察署協議会からの意見・要望を施策等に反映した事例」

○　署が管内の高校生と共同で広報を行い、自転車乗車マナーが改善された。

○　協議会の周知のための広報要望に対し、警察が市に依頼したところ市報に掲載された。

○　特殊詐欺防止の更なる情報発信、広報啓発活動の要望に対し、シンガーソングライターに依頼し作成してもらった特殊詐欺被害防止ソングを活用し広報を行った。

(ｲ) ２班「警察署協議会の運営に関する意見・要望」

○　警察署協議会がマンネリ化している。委員が意見を出しやすい環境づくりが重要である。

○　会議の開催日程の調整が難しい。リモート開催や開催回数を検討してほしい。

○　警察幹部は、異動前の協議会の良い取り組みを移動先の署に引き継いでもらいたい。

(ｳ) ３班「警察業務への理解を深めるための取組状況」

○　警察業務を理解するため、警察学校、機動隊等の各種警察施設の視察等を行った。

○　視察について、数署合同で行うことで、受け入れ側の対応もより充実したものとなり効果的であった。

○　駐在所の視察を行うことで、より地域に密着した警察の理解につながった。

(ｴ) ４班「警察署協議会委員として工夫、苦心等していること」

○　住民からの意見の吸い上げと、警察から得た情報の住民へのフィードバックの在り方について、どうすべきか苦心している。

○　協議会の存在があまり知られておらず、意見を集めにくい。
　協議会について広く周知するための広報を実施すべき。

エ　公安委員長講評（要旨）

○　警察官が気付いていないことでも、住民の皆さんから声を上げていただくことで具体的な行動に移すことができるため、今後とも意見をいただきたい。

○　協議会は、住民の意見を吸い上げるということが一つの大きなポイント。
　協議会の存在が周知されていないことで、委員も積極的に活動しずらいということは今後の課題である。

○　本日の会議結果を持ち帰っていただき、参考になる点はぜひ共有して今後の活動に活かしていただきたい。




【班別意見交換の状況】



【公安委員長講評】



【本部長挨拶】